

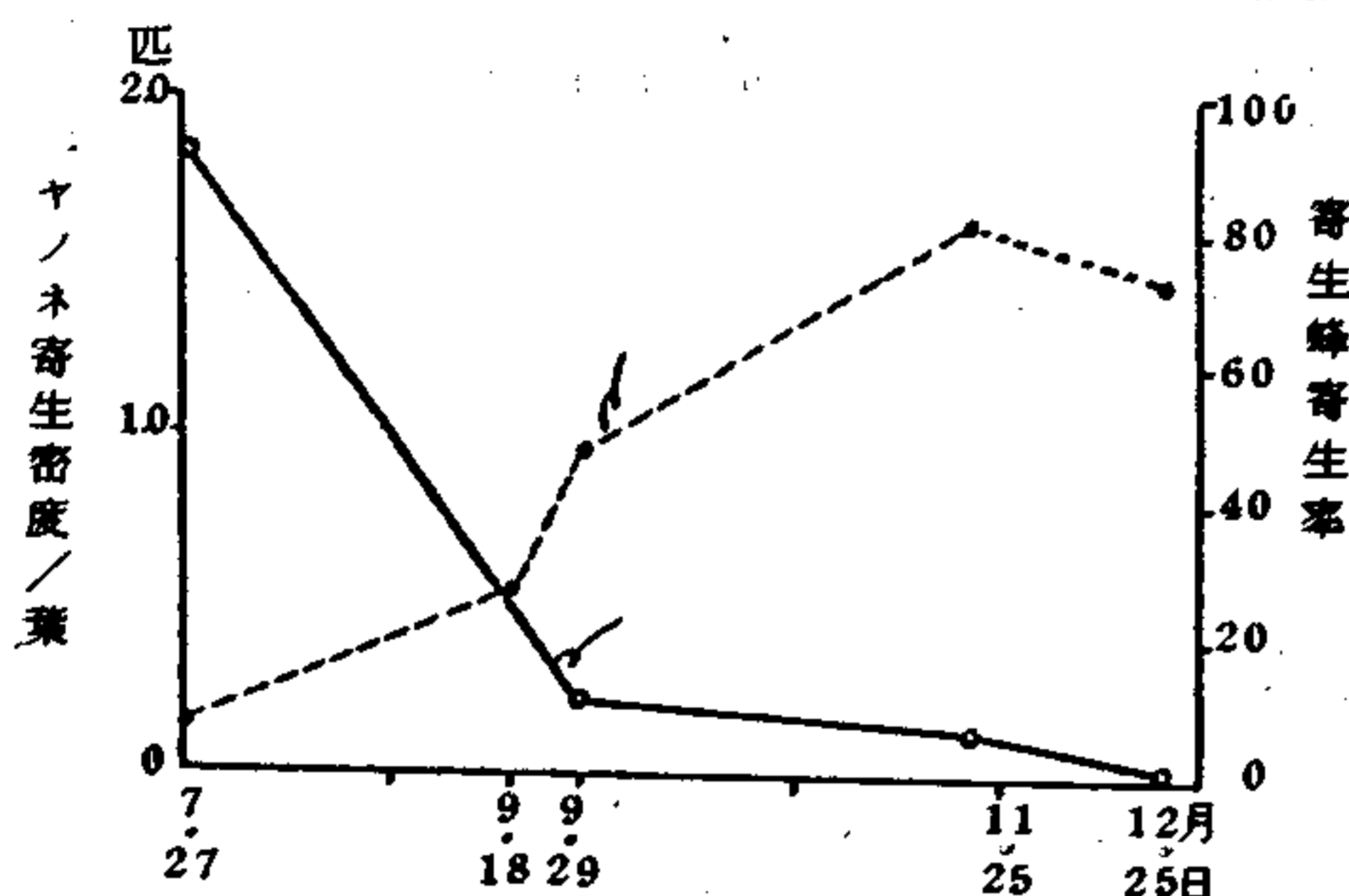
課題名

導入天敵によるヤノネカイガラムシの防除

成果要約

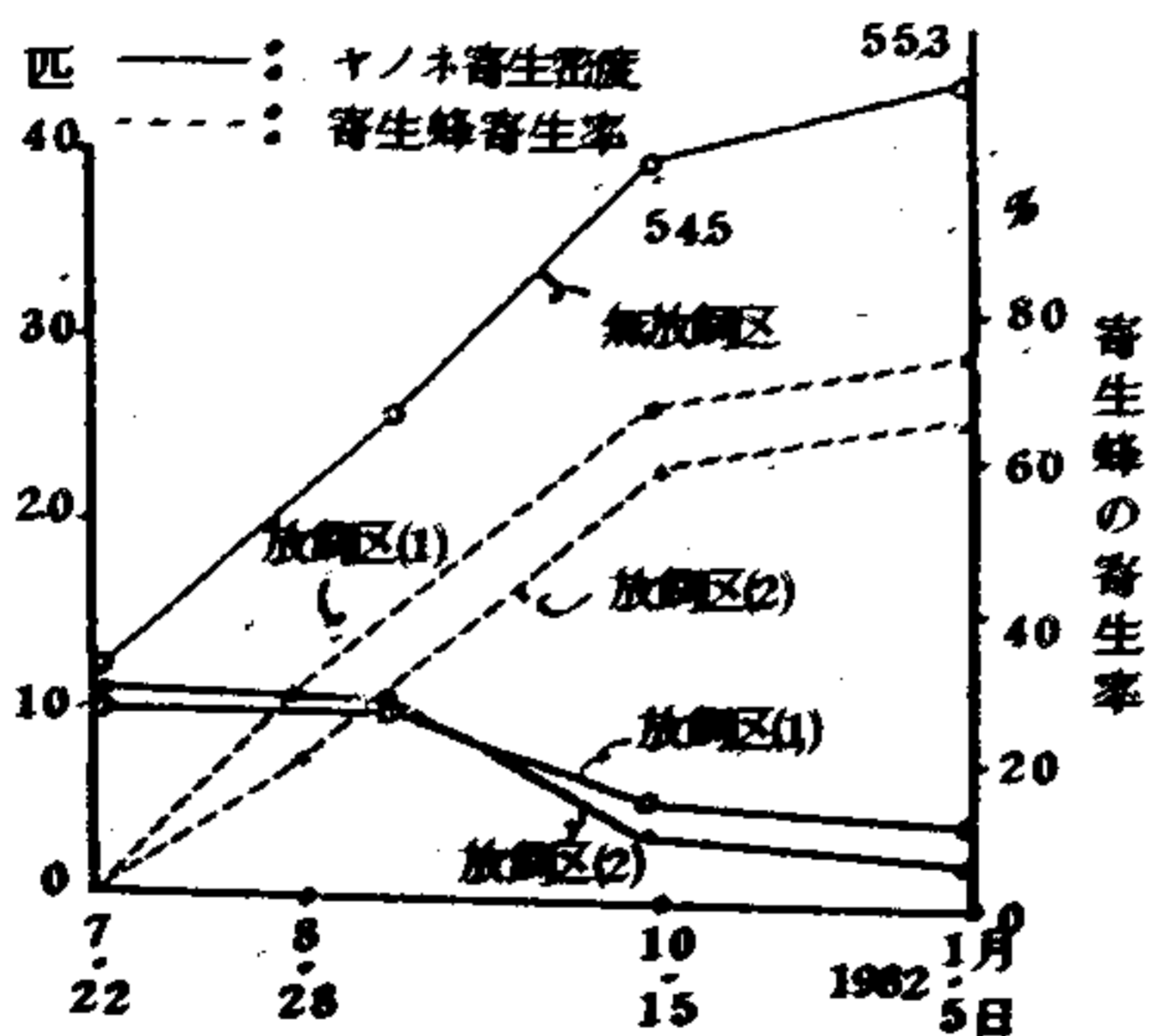
1980年10月中華人民共和国四川省より導入した2種の天敵, *Aphytis n. sp* (マルカイガラキイロコバチ) と *Physcus fulvus* (ヤノネツヤコバチ) のヤノネカイガラムシに対する防除効果は高く, かつ日本々土での越冬も可能であることから, 今後のミカン害虫の防除体系の中心的な手段として有望であることが明らかになった。(静岡県柑試および果試口之津支場で試験中)

成績概



第1図 現地ほ場における寄生蜂放飼後のヤノネ寄生密度とヤノネに対する寄生率の推移(沼津市, 西浦)(1981静岡柑試)

概要



第2図 寄生蜂の寄生率とヤノネ寄生密度の推移(1981静岡柑試)

第1表 2種の寄生蜂の寄生率と捕食虫による捕食率の推移  
 (調査全体)(1981 果試口之津支場)

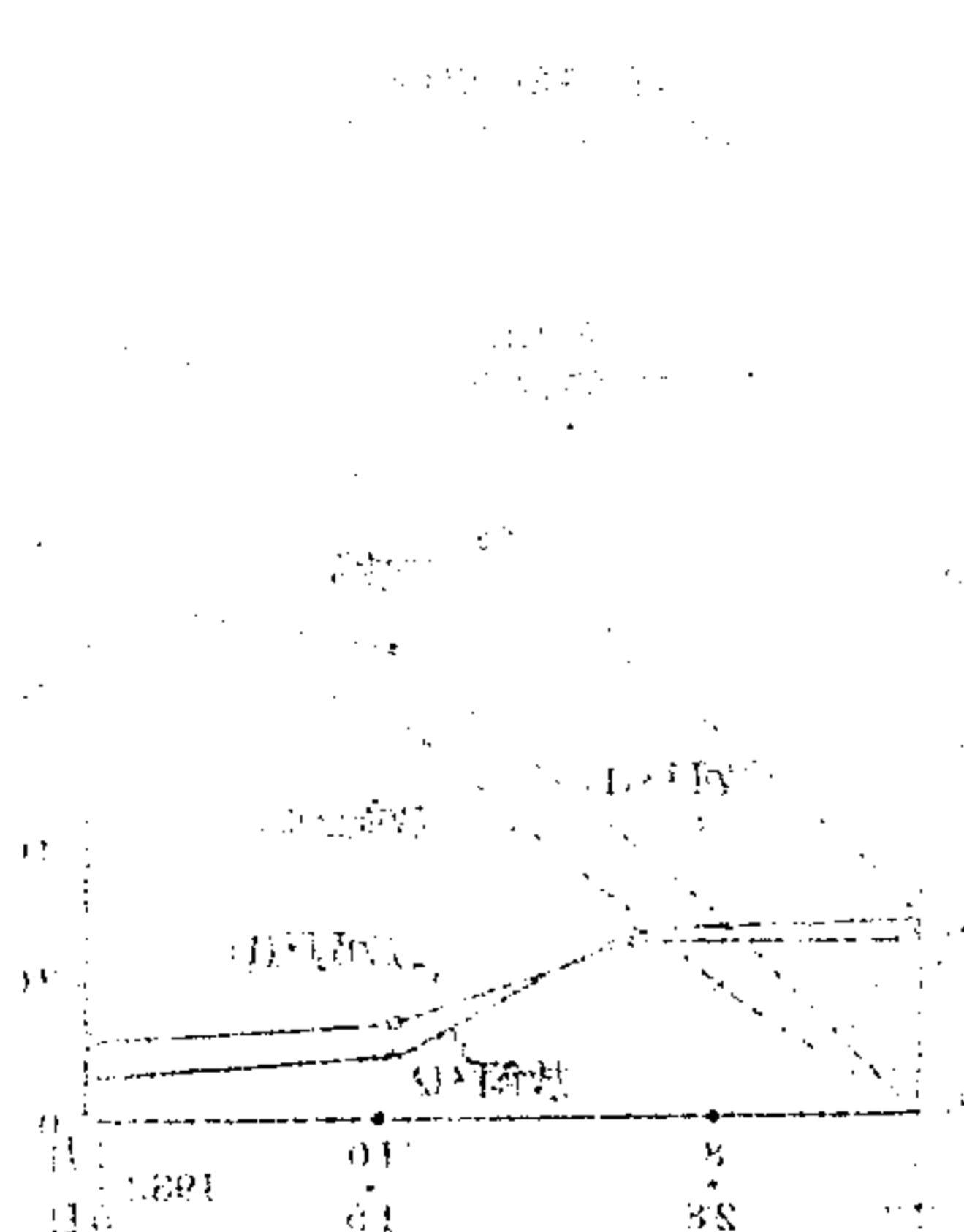
月 日			
7. 28	6.13%	0.40%	36.35%
9. 1	17.60	3.79	28.41
10. 6	51.65	5.68	16.32
11. 30	62.37	9.60(14.01)	11.07

成

績

概

要



寄生蜂の寄生率と捕食虫による捕食率の推移  
 (調査全体)(1981)